

2022年度 日本工学院八王子専門学校											
プロダクトデザイン科											
実践課題制作											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	180	単位	6
担当教員	紺野弘通、大山敏弘			実務 経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
授業概要											
企業や地域と連携した実践的な課題制作を行う。											
到達目標											
卒業制作において、自分自身でPDCAサイクルを回し、制作物のクオリティを高める方法を身につけることを到達目標とする。クライアントの要望を受け、デザインの目的についての的確に理解すること、効果的な手段について考察しリサーチを行うこと、考察したことをビジュアル化し教員に提案し検証すること、完成したデザインをわかりやすく説明することを目標としている。											
授業方法											
初回授業において、なぜ自分が今ここでデザインを学んでいるのかを内省する時間を設け卒業までのマイルストーンを意識する。その後、ラピッドプロトタイピングのノウハウを学ぶワークショップを体験し、当授業の本題へと進む。チームを組み、最終回までの13回を使って一つのテーマに取り組むが、各ポイントで中間プレゼンテーションを実施。そこで得られる声からフィードバックを得て制作物のクオリティアップへと反映させる。											
成績評価方法											
課題完成度50%提出課題完成度を総合的に評価する。リサーチ20%制作準備と過程を評価する。相談検証20%制作過程で適切なディレクション受答ができたか評価する。プレゼン10%制作物の発表方法、内容について評価する。											
履修上の注意											
制作はチームを組んで進めていくため、遅刻、欠席すると他のチームメンバーに負荷・迷惑がかかる。授業時は遅刻、欠席をしないこと。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーション実施ならびに評価を受けることができない。											
教科書教材											
レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	自分の生い立ちから現在を捉え、将来を展望する設計図を描く										
第2回	ラピッドプロトタイピングを、ワークショップを通して学ぶ										
第3回	チームによるブレストにて、初期アイデアを考える										

2022年度 日本工学院八王子専門学校	
プロダクトデザイン科	
実践課題制作	
第4回	ラピッドプロトタイピングの手法を使い、アイデアを具現化する
第5回	具現化したアイデアをプレゼンテーションの形にまとめる
第6回	アイデア段階で、早期フィードバックを得、それを元に改良アイデアを考える①
第7回	ラピッドプロトタイピングの手法を使い、アイデアを具現化する①
第8回	ラピッドプロトタイピングの手法を使い、アイデアを具現化する②
第9回	具現化したアイデアをプレゼンテーションの形にまとめる
第10回	アイデア段階で、早期フィードバックを得、それを元に改良アイデアを考える②
第11回	ここに至る改良アイデアを、最終の成果物として制作する①
第12回	ここに至る改良アイデアを、最終の成果物として制作する②
第13回	ここに至る改良アイデアを、最終の成果物として制作する③
第14回	具現化したアイデアをプレゼンテーションの形にまとめる
第15回	最終プレゼンテーション